

## 2017年A B A C第1回バンコク会議ニュースリリース【仮訳】

ビジネス界は開かれた自由貿易による恩恵と負の影響排除に焦点を

バンコク

2017年2月23日

アジア太平洋地域のビジネスリーダーは、グローバリゼーションの恩恵についてより効果的にコミュニケーションを図り、その負の影響に対応しなければならない—今週バンコクに集結したA P E Cビジネス諮問委員会（A B A C : APEC Business Advisory Council）の委員たちはそう語った。

A B A Cはまた、域内において現在進行している多国間の協力・連携の重要性につき改めて強調した。そうした協力や連携は、域内における国・地域間の安定性を高めるとともに、経済的・社会的発展のより一層の調整を促してきた。

グローバリゼーションと技術革新の結果として、世界が広範にわたる構造変化を経験してきている中、アジア太平洋地域は概してそうした転換による恩恵を享受してきた。その一方で、このような変化の速さや経済統合が、収入格差や社会的混乱、不満を増長してきた側面もある。

「現代においては、ヒト・モノ・カネの自由な往来に自国経済を開放することなくして、いかなる国も発展し得ない。しかし今後もグローバル化を継続していくためには、グローバル化の恩恵をより広く共有する必要がある。その目指すところは、社会的な意味における、さらにあまねく広がる成長と発展でなければならない。」と2017年A B A C議長のホアン・ヴァン・ドゥン氏は述べた。「われわれビジネス界は、単に経済的利益のためだけではなく、目下の混乱と労働者のスキル開発に対処する政策構築に向けて政府と連携するためにも、より良い行動を取ることができる。」

世界的に、貿易自由化によって過去30年間で10億人以上の人々が貧困から救われてきた。A P E C地域におけるこの20年あまりの協力は、7億人以上を貧困から救い、一人当たりG D Pを5倍以上に高めた。「こうした貿易自由化が故に、アジア太平洋は世界で最もダイナミックな地域となり、将来におけるわれわれの強みや成長見通しについても楽観主義を抱き続けられている。」とホアン氏は続けた。

自由化を継続することによる全体としてのベネフィットは明白であるが、A B A Cはグローバル化の影響に向き合うにあたっての民間セクターとしての役割を認識した上で、その恩恵をいかにしてより広く共有することができるかというテーマにつき調査を進めるために南カリフォルニア大学マーシャル経営大学院と提携することとした。この調査は、A P E C全域におけ

るビジネス界・政府・学会の見解を集め、社会的な意味でよりあまねく広がる成長と発展を実現させるための成功法と実践的なステップを見出すことを目的とする。

最終報告書ならびに提言書は、ベトナムのダナンにおいて開催される 2017 年の最終 A P E C 会議の場にて、A P E C に参加する 21 カ国・地域の首脳および閣僚に対して手交される。